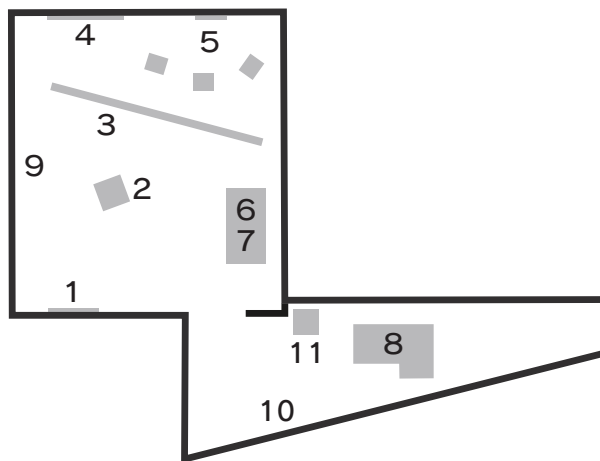


長野県立美術館 アートラボ 2023 第III期

廣瀬智央 みかんの旅

2023.11.3 Fri ~ 2024.2.12 Mon



1 無題 (みかんの旅), 2022

ハイクオリティーデジタルプリント
23×30cm, アウラ現代藝術振興財団蔵

みかんと天空へと繋げるジェスチャーは、コモンズ農園をこれから切り開いていこうとする未来への意志や希望をイメージさせる。

2 無題 (みかんの家), 2022

木, みかん, みかん精油, 180×68.5×41cm, 作家蔵

みかんのための家。人間中心主義への懐疑的な視線をもち人間以外の植物やモノなどの制作を開始したカーザ(家)シリーズ作品のひとつ。窓を覗くとみかんの香りが広がる。

3 無題 (みかんの紙), 2022

摘果みかん, 雁皮繊維, 木, ボルト, ワイヤー
210×427×5cm, アウラ現代藝術振興財団蔵

廃棄せざるをえないみかんと「みかんの紙」へと循環再生させる。使用された食材や素材などが廃棄されることなく、再生と循環も作品コンセプトの一つとして成立させることを試みる。

4 無題 (みかんマンダラ), 2022

みかんの紙にペン, 100×83.5cm, アウラ現代藝術振興財団蔵

みかんとをテーマにした「みかんの旅」や「コモンズ農園」において思考される集合知としてのドローイング。

5 みかんコレクティヴ プロローグ vol.1, 2022

ビデオ, 11分46秒, アウラ現代藝術振興財団蔵

紀南でコモンズ農園を開園するための2021~22年のリサーチ中の記録映像。紀南のみかん農園訪問や農園主のインタビューの様子、会話など、リサーチ中の様子を垣間見ることができる。

6 みかんバー, 2023 (2022)

パフォーマンス, 作家蔵

鑑賞者にみかんジュースを振る舞い、コミュニケーションを取るパフォーマンス。鑑賞者は味覚、嗅覚、視覚をフルに活用して展覧会『みかんの旅』を楽しめる。

7 無題 (みかん), 2022

カッターラの白大理石, 木, 作家蔵

カッターラ産白大理石で造られたみかん。テーブルに生のみかん、乾燥みかんと共に置かれている。

8 無題 (みかんジュース), 2022

みかんジュース, 木, みかんの収穫箱
120×140×90cm, 作家蔵

ラベルが剥がされたみかんジュースが並べられている作品。異なるみかんジュースの色やボトルの形。見慣れたはずのみかんジュースが個性を持ったモノ(人)へと変容し知覚される。

9 無題 (コモンズ農園のためのスケッチ), 2023

マーカー, 230×562cm, 作家蔵

コモンズ農園の構想スケッチ。背後の自然と共鳴しながら、降り注ぐ光の窓ガラスに描かれた一時的な手描きのスケッチ。

10 無題, 2023

養生テープ, マスキングテープ, 紙, 27×2.5×2.5cm, 作家蔵

作品設置中に出たゴミを使って球体を作るシリーズ作品。捨てられた素材が息を吹き返しささやかに存在する。

11 関連企画 <メールプロジェクト016>

1997年以来続く、空のポストカードを旅させるプロジェクト。忘れた頃に届くポストカードは参加者と共に完成する。